



市長の講話に熱心に耳を傾ける参加者たち

市PTA連合会が宇城市長との懇談会を開催 子どもたちの未来のために連携

1/25 市PTA連合会と守田憲史市長との懇談会が松橋町で開催され、市内の小・中学校のPTA役員約50人が参加しました。この会は、PTA活動の充実や強化を目的に開かれているもので、7回目の開催。この日は、教育や少子化、通学路の安全などについて意見交換をしました。参加者の一人は「ICT事業など教育力向上に取り組んでいることがよく分かったので、協力していきたい」と意欲的でした。



江村英子さんは「つながりがうれしい」とにこやか

感謝の気持ちを込めて育てた花苗をプレゼント いつも「見守り」ありがとう

1/27 小野部田小で、児童の帰宅を見守っている小野部田校区老人クラブに児童たちが花苗を贈りました。これは、地域連携の取り組みでお世話になった地元団体などに、感謝の気持ちを伝えようと今年度から始めた活動。この日は、リビングストーンデージーの苗18個を同クラブに手渡しました。5年生の志水旺来さんは「皆さんのおかげで安心です。これからもよろしく願います」と感謝を伝えました。



ニーズに合わせたダイヤの改正などを事例と共に紹介

市地域公共交通活性化協議会主催「地域公共交通講演会」 地域を人を心を結ぶ

1/29 埼玉県川越市をまちづくりで活性化し、赤字のバス路線を復活させたイーグルバスの谷島賢社長を講師に招いた講演会が市役所であり、約60人が耳を傾けました。谷島社長は「コストを変えずに利用者のニーズを満たしていくことが大切。また、『地域を結ぶ、人を結ぶ、心を結ぶ』ように協調していかなければならない。地域と連携した交通がまちづくりにもつながる」と強調しました。



聞こえの改善内容などを報告

全国初の会話支援機器を活用した要介護認定調査意見交換 三笠宮瑤子女王殿下が宇城市をご視察

1/29 三笠宮瑤子様が、会話支援機器 コミュニケーション comuoon の開発者であるユニバーサル・サウンドデザイン株式会社代表取締役社長でNPO法人日本ユニバーサル・サウンドデザイン協会の中石真一路理事長(小川町出身)と共に市をご視察されました。この機器は、要介護認定調査時の会話支援の道具として市が昨年6月に全国で初めて導入したものです。瑤子様は活用状況の報告に熱心に耳を傾けられました。

元サッカー女子日本代表が松橋高で講演 たくさんのことにトライを

1/16 松橋高で、元サッカー女子日本代表の海堀あゆみさんによる講演会が行われ、全校生徒290人が参加しました。県教委の主催。海堀さんは「やりたくないことやできないことも最初から諦めずに、多くのことにトライしてほしい」と生徒たちに熱く語り掛けていました。情報処理科2年の富田一希さん(不知火町)は「ポジティブに考えて失敗を次に持ち越さないようにしたい」と感想を述べました。



体育コースの生徒と輪になって座談会

松合小の子どもたちが絵馬を奉納 大学生手作りの絵馬に願いを

1/17 松合小の児童たちが、不知火町の^{おおとし}大歳宮に絵馬を奉納しました。これは、地域ボランティアが運営する「放課後子ども教室」の活動として行われたもの。絵馬は、熊本県立大学の学生たちが手作りしたもので、子どもたちが絵付けをしました。
子どもたちは、緊張した面持ちで一人ずつ参拝し、奉納式の後、思い思いの願いを込めた絵馬を納めていました。



一人一人の願いを絵馬に込めて

小川町の今村矩重さんが県家庭教育支援功労者表彰を受賞 多彩な活動で子どもたちを支援

1/18 小川町の今村矩重さん(74)が、県教委から表彰を受けました。今村さんは平成19年から、「小野部田小放課後子ども教室」のコーディネーターとして教室の運営に携わっています。学習支援やものづくりなどの活動を企画し、地域ボランティアと協力しながら、子どもの安心安全な居場所づくりに取り組んできました。今村さんは、「これからも学校や家庭、地域と連携して頑張りたい」と話しました。



家庭教育の振興への功績がたたえられました

1日限りのキモノカフェ 古民家で特別な非日常を味わって

1/19 小川町の風の館・塩屋で「1日限りのキモノカフェ」が開かれ、約40人が参加しました。主催したのは市が開催した「まちづくり人材育成塾」の塾生たち。参加者はこの界限から集められた着物を着て、ブレスレット作りやまち歩き、無農薬野菜のランチなどを楽しみました。参加者からは「日頃できない体験に大満足」、「また参加したい」、「着付けにチャレンジしてみたい」などの声が上がりました。



癒やしの時間を過ごした皆さん

◆市ホームページには、たくさんの写真と詳しい内容を掲載しています。